

「利田小学校」で出前講座！



暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、立山町立利田小学校にて出前講座を実施しました。

また、**今年は、常願寺川で観測史上最大洪水である昭和44年8月災害から50年**となることから、当時の記録映像を見ながら、土砂災害の恐ろしさや身近な立山で行われている砂防事業について、興味津々といった表情で学ぶ児童達の姿がありました。

開催日：令和元年8月28日(水)
場所：立山町立利田小学校
参加者：6年生(47名)・教員(3名)

出前講座の様子



◆講座内容◆

1. 立山と常願寺川
2. 立山カルデラ
3. 土砂災害
4. 砂防の役割
5. 立山砂防の仕事
6. 昭和44年の大災害

砂防堰堤の役割は分かったかな？



講座の内容

1. 立山と常願寺川 ●常願寺川の特徴
立山カルデラの地質は、火山性砂礫物や礫層地帯で礫層が多いため、**非常にもろい**地質であり、雨が降るたびに礫層を崩壊しています。
上流から見た常願寺川の河川状況
今も崩壊し続けられる堰堤

4. 砂防の役割 ●白岩砂防堰堤
立山カルデラ内に堆積している約2億m³もの不安定な土砂をカルデラの出口で押さえ込む役割を果たしています。
本堰堤の高さが6.3m、7基の副堰堤を合わせた高さは10.8mとなり共に日本一の高さを誇ります。
平成21年(2009年)、砂防施設としては初めて国の重要文化財に指定されました。

熱心にメモをとる児童達！



常願寺川にも大きな土砂災害があったんだよ

わあ～！車が流れちゃった！

流れが速くて怖い！



実際の映像で昭和44年の大災害を学ぶ様子

今回の出前講座は、昨年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました(昨年度は、富山市立太田小学校)。また、来る9月3日(火)には当事務所管内の現場見学を支援する予定です。